

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月5日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東  
 コード番号 7408 URL https://www.jamco.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	38,120	△41.7	△7,096	—	△8,086	—	△6,416	—
2020年3月期第3四半期	65,337	5.5	1,174	△57.5	786	△70.5	339	△78.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △6,435百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 230百万円(△87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△239.19	—
2020年3月期第3四半期	12.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	106,625	23,146	21.4
2020年3月期	120,184	30,373	24.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 22,850百万円 2020年3月期 29,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,400	△36.2	△10,200	—	△11,100	—	△8,800	—	△328.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	26,863,974株	2020年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	38,932株	2020年3月期	38,932株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	26,825,042株	2020年3月期3Q	26,825,082株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、世界的な新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の影響による移動制限や経済活動の停滞などにより、各国経済は深刻な影響を受けました。その後、感染症のワクチン接種が先進国を中心に開始されましたが、依然として感染症収束の兆しが見えないことから経済回復には厳しい状況が続いています。このようななかで、ドル円為替相場は対米ドル円レート109円台から103円台の範囲で円高方向へ推移しました。

航空輸送業界では、感染症の世界的拡大の影響でかつてない規模の減便や運休などにより経営環境は大きく悪化しており、各エアラインは大幅な人員削減を余儀なくされています。経済活動の再開に合わせて、様々な感染対策をとったうえで少しずつ運航を再開していますが、依然として厳しい状況が続いています。又、航空機メーカーにおいても、航空需要の急激な落ち込みにより、ボーイング、エアバス共に大幅な減産が実施される状況になりました。

感染症の収束時期が不明な状況下、当社グループでは、当面は厳しい経営環境が続くものと想定し、将来の航空需要回復に備え、全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質と収益力の向上を目指すと共に、人員削減等による経費削減、投資抑制を図り、拠点整理にも取り組んでいます。又、感染防止対策を徹底すると共に、在宅勤務、シフト勤務の導入、職場における作業エリアの分散など接触率の低減に努め、急激な仕事量減少については一時帰休などにより臨機応変に対処しました。

航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連においては、航空需要の急激な落ち込みに対応するため、生産計画の緊急見直しを行うと共に、生産拠点の再編を行いました。又、お客様が航空機に搭乗する際に抱く不安を少しでも解消できるように、清潔で衛生的なキャビン作りのための製品開発にも取り組みました。

なお、受注高は、航空需要の急激な落ち込みから航空機メーカーの大幅な減産が実施されたことや、エアラインから受注の一部延期やキャンセルにより、前年同四半期に比較して大きく下回る結果となりました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取組みを進めると共に、これまで培った加工技術を生かし、内装品関連を初めとした部品の内製化を進めました。又、熱可塑CFRPを活用した航空機用軽量機体部材の開発を進めています。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、エアライン、官公庁向け整備の受注に努め、安定した収益を上げることのできる事業基盤の構築を目指しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 38,120百万円（前年同四半期比 27,217百万円減）、営業損失 7,096百万円（前年同四半期は、営業利益 1,174百万円）、経常損失 8,086百万円（前年同四半期は、経常利益 786百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失 6,416百万円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純利益 339百万円）となりました。

又、当第3四半期連結会計期間末に第4四半期連結会計期間以降の完成工事に対する工事損失引当金を 4,881百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第3四半期連結会計期間において売上原価 153百万円の増加（第2四半期連結累計期間末の工事損失引当金は 4,728百万円）、又、当第3四半期連結累計期間においては売上原価 1,273百万円の増加（前連結会計年度末の工事損失引当金は 3,607百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、試験研究費、人件費、保証工事費、販売手数料の減少などにより4,926百万円（前年同四半期比 1,236百万円減）となりました。

営業外損益は、前連結会計年度末よりも為替相場が円高で推移して為替差損が増加したことや支払補償費の増加などにより989百万円の損（前年同四半期は、388百万円の損）となりました。

特別損益は、一時帰休による雇用調整助成金等の助成金収入626百万円を計上しましたが、一時帰休による固定費等の操業費用を新型コロナウイルス感染症関連損失として1,253百万円、又、新型コロナウイルス感染症拡大による航空旅客需要の低迷から事業規模の適正化を図るため、海外生産拠点の整理集約に関連して発生した退職者の割増退職金350百万円を計上したことなどにより1,005百万円の損（前年同四半期は、215百万円の損）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、感染症拡大による影響で航空機メーカーは減産や生産スケジュール変更を余儀なくされたことから、ギャレー及びラバトリーの出荷が減少したことに加え、航空機の運航が減少したことにより、エアライン向けの客室改修用キットやスペアパーツ販売が減少し、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 24,880百万円（前年同四半期比 18,855百万円減）、経常損失 5,417百万円（前年同四半期は、経常利益 2,219百万円）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、感染症拡大による影響で顧客による納期変更や一部キャンセルなどにより、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高の減少や採算性の悪い一部プログラムの出荷があったことにより、経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 6,175百万円（前年同四半期比 5,438百万円減）、経常損失 2,458百万円（前年同四半期は、経常損失 1,748百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、防衛関連を中心とした熱交換器等装備品の出荷は堅調に推移したものの、感染症拡大による影響で航空機メーカーは減産や生産スケジュールの変更を余儀なくされたことから、民間航空機向け製品の炭素繊維構造部材や航空機エンジン部品の出荷が減少し、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 2,756百万円（前年同四半期比 1,369百万円減）、経常損失 212百万円（前年同四半期は、経常損失 182百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備においては前年同四半期における一部プログラムの出荷増加による反動、装備品整備においては感染症拡大による影響でエアラインからのホイール、ブレーキなどの受注が減少したことにより、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常利益については、売上高減少などにより前年同四半期に比べ減少しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 4,307百万円（前年同四半期比 1,553百万円減）、経常利益 0百万円（前年同四半期比 500百万円減）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円（前年同四半期比 0百万円減）、経常利益 0百万円（前年同四半期は、経常損失 2百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は106,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,558百万円減少しました。内、流動資産については、原材料及び貯蔵品の増加(前期末比2,683百万円増)等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少(前期末比11,435百万円減)、現金及び預金の減少(前期末比3,417百万円減)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ15,086百万円減少しました。又、固定資産については、当第3四半期連結累計期間の投資案件が比較的少なかったことから有形固定資産の減少(前期末比954百万円減)、無形固定資産の減少(前期末比242百万円減)等がありましたが、投資その他の資産の増加(前期末比2,724百万円増)により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ1,528百万円増加しました。

負債合計は83,479百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,331百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の増加(前期末比9,622百万円増)等がありましたが、支払手形及び買掛金の減少(前期末比6,883百万円減)、電子記録債務の減少(前期末比4,892百万円減)、前受金の減少(前期末比2,330百万円減)、賞与引当金の減少(前期末比1,053百万円減)等によるものです。

純資産合計は23,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,226百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失や配当金の支払などによる利益剰余金の減少(前期末比6,952百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は21.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年11月6日に発表した「通期連結業績予想及び配当予想(無配)並びに特別利益・特別損失計上に関するお知らせ」から変更はありません。

なお、通期連結業績予想の前提となる第4四半期連結会計期間の為替レートは105円/米ドルから変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,690,990	5,273,506
受取手形及び売掛金	31,898,770	20,463,541
商品及び製品	1,422,398	1,816,673
仕掛品	30,328,978	28,838,138
原材料及び貯蔵品	20,500,595	23,184,491
その他	4,899,335	3,091,452
貸倒引当金	△8,504	△22,138
流動資産合計	97,732,564	82,645,666
固定資産		
有形固定資産	13,766,040	12,811,678
無形固定資産	1,999,120	1,756,932
投資その他の資産	6,686,819	9,411,650
固定資産合計	22,451,980	23,980,260
資産合計	120,184,545	106,625,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,394,529	4,510,872
電子記録債務	9,551,128	4,658,869
短期借入金	36,386,966	46,009,668
1年内返済予定の長期借入金	1,200,000	1,000,000
未払法人税等	302,208	30,756
前受金	8,644,784	6,314,465
賞与引当金	1,642,946	589,352
工事損失引当金	3,607,749	4,881,466
その他	4,219,469	3,273,426
流動負債合計	76,949,782	71,268,878
固定負債		
長期借入金	3,500,000	3,000,000
退職給付に係る負債	7,282,672	7,386,194
損害補償損失引当金	987,196	959,437
その他	1,091,394	864,695
固定負債合計	12,861,263	12,210,327
負債合計	89,811,045	83,479,206



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,309,484	4,318,925
利益剰余金	20,483,085	13,530,289
自己株式	△31,175	△31,175
株主資本合計	30,121,288	23,177,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,663	147,321
為替換算調整勘定	△41,674	△176,353
退職給付に係る調整累計額	△339,306	△298,134
その他の包括利益累計額合計	△276,318	△327,165
非支配株主持分	528,529	295,952
純資産合計	30,373,500	23,146,720
負債純資産合計	120,184,545	106,625,926

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	65,337,304	38,120,127
売上原価	57,999,844	40,290,934
売上総利益又は売上総損失(△)	7,337,459	△2,170,807
販売費及び一般管理費	6,162,790	4,926,018
営業利益又は営業損失(△)	1,174,669	△7,096,825
営業外収益		
受取利息	37,944	10,612
受取配当金	5,300	1,949
持分法による投資利益	5,496	14,241
受取保険金	50,838	82,189
助成金収入	107,182	36,729
その他	38,976	61,027
営業外収益合計	245,739	206,749
営業外費用		
支払利息	314,669	299,459
為替差損	91,552	578,914
支払補償費	74,653	217,741
その他	152,877	100,358
営業外費用合計	633,752	1,196,474
経常利益又は経常損失(△)	786,655	△8,086,550
特別利益		
受取保険金	60,000	-
助成金収入	-	626,263
特別利益合計	60,000	626,263
特別損失		
固定資産処分損	18,242	27,017
災害損失	13,306	-
品質関連損失	244,243	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	1,253,601
割増退職金	-	350,984
特別損失合計	275,793	1,631,603
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	570,862	△9,091,889
法人税、住民税及び事業税	60,319	5,026
法人税等調整額	149,717	△2,734,062
法人税等合計	210,037	△2,729,036
四半期純利益又は四半期純損失(△)	360,824	△6,362,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,836	53,441
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	339,987	△6,416,294

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	360,824	△6,362,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,984	42,658
繰延ヘッジ損益	△68,199	-
為替換算調整勘定	△82,630	△156,520
退職給付に係る調整額	22,902	41,172
その他の包括利益合計	△129,911	△72,689
四半期包括利益	230,912	△6,435,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,017	△6,467,443
非支配株主に係る四半期包括利益	11,895	31,900

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<p>当社グループでは、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。</p> <p>第2四半期連結会計期間の四半期報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。</p>

(四半期連結損益計算書関係)

助成金収入

一時帰休による雇用調整助成金等を助成金収入 626,263千円として特別利益に計上しています。

新型コロナウイルス感染症関連損失

世界的な感染症拡大や政府による緊急事態宣言の影響等により、操業が著しく低下し、一時帰休による固定費等の操業費用を新型コロナウイルス感染症関連損失として 1,253,601千円を特別損失に計上しています。

割増退職金

新型コロナウイルス感染症拡大による航空旅客需要の低迷から事業規模の適正化を図るため、海外生産拠点の整理集約に関連して発生した退職者の割増退職金 350,984千円を特別損失に計上しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,735,676	11,614,498	4,125,973	5,861,126	65,337,275	29	65,337,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	391,219	151,831	28,602	40,326	611,980	82,089	694,069
計	44,126,895	11,766,330	4,154,576	5,901,452	65,949,255	82,118	66,031,374
セグメント利益 又は損失(△)	2,219,480	△1,748,297	△182,804	501,126	789,505	△2,849	786,655

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	789,505
「その他」の区分の利益	△2,849
四半期連結損益計算書の経常利益	786,655

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,880,363	6,175,986	2,756,163	4,307,610	38,120,124	3	38,120,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	341,111	166,003	2,257	11,948	521,320	81,132	602,453
計	25,221,474	6,341,990	2,758,421	4,319,559	38,641,444	81,136	38,722,581
セグメント利益 又は損失(△)	△5,417,118	△2,458,147	△212,457	599	△8,087,124	574	△8,086,550

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△8,087,124
「その他」の区分の利益	574
四半期連結損益計算書の経常利益	△8,086,550

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。